

植物多様性センターの「マルバヌスビトハギ」

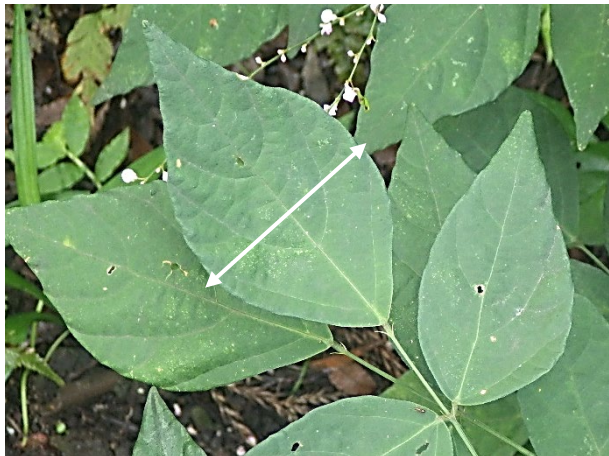
マメ科の多年草、マルバヌスビトハギが今年はじめて学習園で開花しました。種子から育てて2年目です。ヌスビトハギとは、同じ基本種の亜種同志の関係でよく似ていますが、注意して見ると違いがあります。名の由来となる葉ですが、最大幅は中央より葉の先端のほうに近く、丸いことがわかります。花はどうかというと、やはりそっくりですが、ガク片や花柄に白い毛が多くつきます。



マルバヌスビトハギの葉:最大幅は葉の中央より先端に近い



マルバヌスビトハギの花:ガク片や花柄に毛が多く、花柄が長い



ヌスビトハギの葉:最大幅は葉の中央より基部に近く縦長



ヌスビトハギの花:ガク片にも花柄にも毛はなく、花柄は短い